

授 業 科 目 名	経済学特論		
学 期 単 位 数	通 年 4 単 位	担 当 者 職 氏 名	准 教 授 有 馬 弥 重
授 業 概 要 と テ ー マ	経済学を学ぶ上で基礎となるマクロ経済学、ミクロ経済学の知識を論理的に学んでいく。また実際の経済現象や経済問題を取り上げ、それらの出来事がどのようにして生じたのか、習得した知識によってその分析・考察を行っていく。		
到 達 目 標	1. 「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」の一般的知識を習得すること。 2. 「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」の知識により日常の経済問題について分析・理解できるようになること		
授 業 計 画	1. マクロ経済学について 2. マクロ経済学と GDP 3. マクロ経済学での需要と供給 4. 有効需要と乗数メカニズム 5. マクロ経済学での均衡 6. 貨幣の機能 7. マネーサプライと信用乗数 8. 貨幣供給と物価 9. マクロ経済政策 10. 財政政策と金融政策 11. インフレーション 12. 失業 13. 財政収支の短期的側面 14. 財政収支の長期的側面 15. 前半まとめ 16. ミクロ経済学について 17. 需要と供給 18. 需要曲線と消費者余剰 19. 費用構造と供給者行動 20. 市場と価格メカニズム 21. 余剰分析 22. 囚人のジレンマ 23. ゲーム理論と経済政策 24. 独占の理論 25. 完全競争と独占的競争 26. 外部効果 27. 公共財 28. 不確実性と経済現象 29. 不完全情報の経済学 30. まとめ		
学 生 に 対 す る 評 価	【成績評価の基準】 A (優) …ほぼ全ての項目において優れている。 B (良) …全ての項目において望ましい水準に達している。 C (可) …一部の項目において望ましい水準に達していない。 D (不可) …ほとんどの項目において望ましい水準に達していない。 【成績評価の方法】 出席 … 50% 報告・レポート等 … 50%		
テ キ ス ト	伊藤元重『入門経済学』日本評論社		
参 考 文 献	J.E スティグリッツ, C.E ウォルシュ『スティグリッツ入門経済学』東洋経済新報社		
備 考			